

日時:平成27年10月14日(水)
場所:木更津市役所 駅前庁舎
講師:新日鐵住金株式会社 君津製鐵所 総務部長 大西 史哲 氏

1. 新日鐵住金における取組

(1)国力維持・地方創生 ・国内製造基盤の維持と積極的な海外展開 ・日本の経済規模が縮小し、20年前と比較すると約2000万トンも鉄の内需が減少している ⇒解決策はグローバル化 ただし、競争力強化を前提とし、国内のものづくりの拠点を維持した上で、伸びゆく海外市場を捕捉する	(3)団塊世代リタイヤへの対応 ・真の少数『精鋭』化のため、若手・中堅の育成 ⇒新入社員への研修の強化を図る 今年から、中堅社員にも適用して育成
(2)働き手の確保(ベテラン・女性の活躍) ①ベテラン ・65歳までの再雇用制度や表彰制度の導入によりベテランのモチベーションの向上を図る。 ②女性 ・働きやすさ向上のためのインフラ整備(女子寮等) ・企業内保育所の検討 ・制度補助(育児料金補助、育児休業)	(4)次世代の確保 ・少子化環境におけるものづくり人材の確保 ※過去5年平均、県内からの入社は約3割 今年度、県内からの工業高校生の入社は0人 ⇒製鐵所の現場見学等を行い、興味を持つ機会を設ける

2. 地方の発展に向けた新日鐵住金の使命と行政へのお願い

(1)新日鐵住金君津製鐵所の使命 ①雇用の創出 ②納税の維持・向上 ③関連産業の活性化
(2)行政へのお願い ①設備再投資への支援 ・償却資産税を対象とする「機械装置等の更新投資に対する再投資支援策」等の導入 ・「環境、保安、港湾」の分野の規制緩和、土対法の規制緩和 ②人材の再生産 ・県内中心の工業系学生の採用サポート ・女性採用拡大に伴い、企業内保育所の支援

3. 鉄鋼業の歴史に見る地域発展に向けた糸口

①1985～2002年にかけて、プラザ合意による円高やゴーンショックにより、生き残りをかけ事業構造改革を推進。 ・人について・・総合的生産性の向上、同じ頭数でより付加価値の高いものを生産 ・物について・・既存設備を徹底的に磨き上げ、老朽化設備のメンテナンス ・金について・・財務体質の健全化、設備投資の重点化 ②企業内の合理化に留まらず、企業の枠を超えた会社間の統合の実現 ⇒ 新日鐵住金への統合 ③平成27年9月に閣議決定された第4次社会資本整備重点計画には、以下の内容が記載されている。 ・集約・再編を含めた既存施設の戦略的メンテナンス ・既存施設の有効活用 ・社会資本の目的・役割に応じた選択と集中の徹底 ⇒「集約・再編」、「既存施設の有効活用」、「選択と集中」が地方創生に向けたキーワードとなる。
--

4. 木更津市を含む上総4市の強みについて

・上総4市は、人口の集積する拠点(東京)に近く、安価な地価で、山川海に囲まれており、農業・漁業・商業・工業・観光業ともに優位性を保持している。 ・この強みを最大限に活かすために、以下の視点から「行政の広域連携(統合も視野)と既存インフラ(人・物・金)の徹底活用」をするべきではないか。 ①行政コストの縮減・効率化 ②重点施策財源の拡充 ③人口・産業の集積化(コンパクトシティの形成)
--

地方創生総合戦略策定に係る講演会の概要について②

資料2

日時:平成27年10月19日(月)

場所:木更津市役所 駅前庁舎

講師:ソニーイーエムシーエス株式会社

執行役員・グローバルCS部門長・木更津サイト長 上竹 昭浩 氏

1. ソニーイーエムシーエス(株)の概要

- ・企業目標 「ものづくりでお客様の想いをカタチにする会社であり続ける」
- ・企業ビジョン 「一人ひとりの挑戦を通じて新たなテクノロジーの開拓とグローバルなオペレーションを進化させソニーイーエムシーエスだからこそできるものづくりの開拓者であり続ける」
- ・事業内容 商品開発・設計、資材調達、製造をはじめ、修理やカスタマーサービスの機能をもつ総合的なものづくりを行う
- ・従業員数 3741名
- ・工場数 4ヶ所(木更津サイト・湖西サイト・幸田サイト・稲沢サイト)

2. 人口減少時代において、人材確保・育成について

- ①現有人員の活性化、特に女性の活性化
- ②外国人の活用
 - ・木更津サイトでは働いている人の3分の1が外国人であり、アジアや南米など様々な地域から働きに来ている。
- ③工場設備の自動化
 - ・今後、自動化による無人の工場を作ることによって、人件費が掛からず、競争力を維持できる。
 - ⇒自動化を作り上げる技術力の強化がさらに必要

3. ダイバーシティの取組

(1)女性の活躍の推進

- ①管理職が定期的に女性の活躍推進をテーマに話し合い、育成を計画的に推進。
- ②ブルームプロジェクト
 - ・各職場の女性社員が集まり、女性社員のキャリア意識の向上を目標に、講演会、交流会、広報などの活動をするプロジェクト。女性のキャリアプランやワークライフバランスのとれた働き方について考え、各女性社員ごとにアクションプランを策定している。
- ③クローバープラスワンプロジェクト
 - ・育児休暇中、子育て世代、子どもの欲しい人を繋ぐ場をつくり、仕事と子育てを両立できるように社員をサポートするプロジェクト。

(2)障害者雇用

- ・国立職業リハビリテーションセンターや千葉リハビリテーションセンターと連携して、アドバイスを受けることにより、法定雇用率を上回る雇用率の達成。

4. 木更津市に望むもの

(1)地域防災の強化

- ・行政主体で地域企業と協議する場の設定
- ・災害発生時の緊急情報の官民連携
- ・地域住民の救済に対する対応(避難場所や備蓄品の共有)
- ・官民一体となった防災訓練の実施
- ・防災教育の充実

(2)インフラの充実

- ・社内各種行事や健康増進を目的とした活動の会場となる施設が不足しており、使用することが出来ない
- ・学童、および介護施設の充実
- ・出張者などが利用できる宿泊施設の不足
- ・外国人への地域としての対応
- ・単身者向けの安価な住宅の供給

(3)環境への取り組みに対する連携